

今回の号は100周年ビジョンの特集を中心に編成させていただきました。私も作成に関わらせていただきましたが、今回のように各設置校が一丸となって作成したビジョンは初めてであると考えています。

2021年に100周年を迎えて、101年目にこのようなビジョンを「ちぬ」で公開できたことは非常に有意義であると同時に、作って終わりではなく実行していくことが大事だということも感じました。

このビジョンを通じて教職員の皆様に今の浪商学園の想い、考え方を少しでも感じていただけることを願い、編集後記とさせていただきます。

[企画室長 野田達彦]

学園広報誌「ちぬ」の由来

浪商学園に勤務する教職員の交流を図るために発行された学園広報誌「ちぬ」。

茨木時代は校舎前（現在の浪商幼稚園前）を流れる安威川より名を冠した「あいがわ」でしたが、熊取移転に伴い「ちぬ」と改められました。

「ちぬ（茅渚）」とは奈良時代から見える和泉地方の呼称。「古事記」神武天皇条にも見え、大阪湾を「ちぬの海」ともいい、浪商中学校・高等学校、大阪青凌中学校・高等学校の校歌でも歌われています。

ちぬ



100周年ビジョン特集

浪商学園 理事長 **野田 賢治**

～各設置校の連携強化とビジョン達成に向けて～

NAMISHO VISION 100

NEXT 10 YEARS

浪商学園100周年記念 これからの10年

2022 NEW HIRES

誌面歓迎会!!

令和3年度事業報告

学園創立100周年の取り組み

学校法人浪商学園 学園報「ちぬ」 No.061 令和4年6月27日発行

発行者：学校法人浪商学園 総務部企画室／発行責任者：野田達彦

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

TEL 072-479-3111 FAX 072-453-8972

学園ホームページ：<https://www.namishogakuen.jp/>

印刷・製本：株式会社毎日新聞大阪センター

2021年に浪商学園は100周年を迎え、次の100年を見据えた「NAMISHO VISION 100」を策定し、最初の10年間で各設置校、法人がどのように歩んでいく必要があるかを明確にしました。

野田賢治理事長メッセージ

「NAMISHO VISION 100」

～各設置校の連携強化とビジョン達成に向けて～



100周年にあたり策定しました「NAMISHO VISION 100」について、経緯も含めて述べたいと思います。

創立90周年の際、学園の将来構想（ビジョン）として創立90周年誌に掲載したことに端を発します。その要旨は、「設置校がそれぞれの特色を活かし、社会に認められる教育機関になるために、各設置校が連携をはかりながら人材育成を行う」というものでした。法人はビジョンに基づく各設置校の中期目標と計画（以下、「中期計画」）の実現のため、100周年に向け積極的に経営的サポートをしております。

「90周年教職員の集い」の際、各設置校の代表が、100周年の時にどんな学校に成っていたいか（ビジョン）を発表しました。

大学は、学長が作成され、教授会で承認された中期計画をもとに発表されました。しかし、学長任期4年の範囲の中での構想ということでした。未実施の政策は、原則として次の学長へと引き継がれますが、一貫性が保たれるかどうかは、次の学長次第ということになります。

大阪体育大学浪商中学校・高等学校、大阪青凌中学校・高等学校、大阪体育大学浪商幼稚園は、教員の代表がプレゼンテーションを行いました。中身については、職員会議でオーソライズされています。

その上、戦略会議を立ち上げ、月1回開催し、中高・幼稚園と法人との間で現状認識を共有し、中期計画の進捗状況を確認しています。それにより計画の継続が担保され、状況に応じた変更についても機動的な対応が可能となりました。

いよいよ100周年を迎えるにあたり、立てた目標が達成できたかどうかの振り返りを行い、同時に101年目からの中長期の目標を立てる必要があります。まず着手したのは中期計画の期間統一です。法人、中高、幼稚園は3年間、大学は4年間となっていました。これを5年間に統一しました。そのことにより、各設置校間の足並みがそろい連帯感が増し、連携事業の促進に役立つはずです。

次に法人組織を改変し、日常業務における重要な問題を解決し、円滑な学園運営を行うために、理事会の下に常任理事会を設置しました。それに伴い、法人と大学との議論の場であった、大学等運営協議会を解散し、その役割を常任理事会が担うことになりました。中高・幼稚園は戦略会議を残し、これまで同様、計画実施を担ってもらいます。

私学をとりまく状況は、ますます厳しさを増しています。昨年の出生数は81万人ということで、厚生労働省の推計を大きく下まわり、少子化がさらに加速しています。このような困難な時だからこそ、各設置校が一致協力し、乗り越えなければなりません。

教職員の皆様におかれては「NAMISHO VISION 100」をしっかりと読んでいただいて、腑に落としてください。

各設置校のビジョンが達成されることを願ってあいさつとします。

「NAMISHO VISION 100」

建学の精神のもと、国際社会に目を向け、各設置校が特色を活かしながらも連携を強化し、学園が一体となって、人が人らしく幸福に暮らす社会を創造する教育を提供します。
また、今以上に社会に認められる教育機関になるために、ガバナンスを強化し、将来に向けて盤石な経営基盤を確立することを目標とします。

ビジョンの策定について ～浪商学園、10年後のさらなる充実へ～

ビジョンを策定するにあたり建学の精神の重要性を再解釈し、浪商学園が今まで築き上げてきた歴史を紐解き、今後100年がどのような時代になり、どのような教育機関であることが求められるかを検討し、「教育・研究」「組織体制・人材育成」「財務戦略」「社会貢献」の4つのポイントに重点を置き各設置校、法人のビジョンを策定しました。各設置校と綿密にやりとりを行いそれぞれの想いをビジョンとして形にできたのは大きな成果であります。

また、ビジョンを実現させるために新たな経営の中期目標と計画を策定しました。期間を5年間に統一しビジョンともリンクをする計画としました。

長期ビジョンを具現化するための4つのポイント

1 教育・研究

建学の精神に基づき「智・徳・体」の成長をめざし、社会において活躍できる人材を育成することが浪商学園の教育の役割と認識する。100年間培われた学園（設置校）の魅力を中心に活かし、各設置校がどのような人材を社会に輩出する教育方針であるかを明確化し、社会をリードする人材の育成を実現する。

大学にとって研究成果は、重要な知的財産であるとともに、大学の存在意義を具現化するものである。研究成果の情報発信力を向上させ、世界で評価される価値の高い研究にコミットすることに力を注ぐ。

2 組織体制・人材育成

学園が教育機関として健全な発展を続けていくためには、少子化やグローバル化といった社会環境の変化に的確に対応する必要がある。よって変化の予測を怠らず、諸課題に対して主体的・機動的に取り組むことができる人材を育成し、効果的に能力の発揮を可能とする組織体制の構築を行う。

3 財務戦略

各設置校が収容定員を確保することが学園経営の基盤となる。そのために各設置校が「財政的自立」を基本とした中期計画を策定し、目標収支を達成する。

収入については、学生生徒等納付金の安定的確保と、補助金収入確保の取り組み強化、寄付金収入の増をめざす。また、施設設備利用料収入の積極的な取り組みも行う。

支出については、10年後のさらに先を見据えた長期的展望を策定するため、法人と各設置校が一体となった計画を策定する。具体的には移転後30年以上経過する熊取キャンパスの建替え計画など必要性和優先順位を慎重に進める。また支出の大きな構成比を占める人件費についても十分な教育サービスが提供できることを前提に適切な経費削減を行う。

4 社会貢献

社会貢献は学校法人として果たすべき重要な役割である。具体的には、浪商学園を中心としたステークホルダーとの連携の構築・拡大をはかり、人権、男女参画、環境保全、文化の発信、スポーツ振興および健康に関する生涯学習の機会を提案する。それらを地域社会や行政、企業と連携し実現させることで、幸福な社会づくりに貢献する。

NAMISHO
VISION
100
NEXT 10 YEARS

大阪体育大学・大学院

学長 原田 宗彦

本物を学び、極める

本学は、本物を学び、極める大学として、これからも社会の多様な価値創造に貢献する人材を育てます。

大阪体育大学・大学院は、「NAMISHO VISION 100」の中で、大学・大学院のビジョンを策定しました。今回は、10年後の浪商学園と大学・大学院のさらなる充実に向けて、「本物を学び、極める」という明確なフレーズを前面に掲げ、他の体育・スポーツ・健康系大学・学部には負けない競争優位性を確保するとともに、社会の多様な価値創造に貢献できる人材の育成に励むことをビジョンの中核としています。

ビジョンの実現に向けては、(1) 豊かな教養と確かな専門知識を身につけ、広い視野と探求心をもって学び続ける力を培うとともに、国際社会や地域社会で活躍できる人材を育てるための「教育」、(2) 体育・スポーツ・健康の課題解決に寄与するための学際的かつ領域横断的な「研究」、そして(3) スポーツの発展とそれを支える基盤人材の育成によって次世代の豊かで健康な社会づくりをめざす「社会貢献」の3つを掲げ、これらを継続して実践することを基本方針としました。

今後は、ビジョンをベースとした大学の中期計画をスムーズに駆動させ、教育研究活動の質と学生の学修成果の水準等を保証し、継続的に改善・向上を行うための枠組みである「内部質保証」との連動性を高めつつ、大学・大学院の価値を高めていきます。



大阪体育大学浪商中学校・高等学校

校長 工藤 哲士

On your mark ～next100～

多様化する社会の諸問題と主体的に向き合い、さまざまな課題を解決できる人材を育てます。

浪商学園 浪商高等学校は昨年度、創立100周年を迎えました。そして今年度、「On your mark ～next100～」というキャッチフレーズのもと、新たなスタートをきりました。

激変する予測不能な未来、多様化するさまざまな社会の諸問題に対応できる人材の育成ならびに地域社会から必要とされる学校づくりを見据え、中期計画を策定しました。

中学校とも、募集活動、進学実績、教育内容、組織体制の四項目における具体的な目標を達成させ、継続的に安定した入学生確保に繋げていきます。

教育目標においてはICTを活用した学力向上システムの構築を基盤に進学実績の向上をはかります。また熊取キャンパス内におけるスポーツを軸とした学内連携の更なる推進、そして近隣大学を主とした医療、グローバル、探究活動における多種多様な連携、提携事業についても本校の大きな魅力づくりとして新たにスタートしました。

同時に校内ICT化を推進し、個々のスキルアップ、各担当部署の専門性向上に向けた取り組みを強化し、業務のスリム化、効率化をはかり組織力アップに努めます。



大阪青凌中学校・高等学校

校長 向 忠彦

ひとつ上の自分へ

先進的で能動的な教育環境のもと、自ら考え、自ら学ぶ態度を持つ生徒を育てます。

大阪青凌は、今年創立40周年、島本町に校地を移転し3年目を迎えます。これからも、地域に根付き信頼される学校づくりをめざします。

大阪青凌の揺るぎない目標は、「主体的な学習態度と確かな学力の育成」と「校訓の精神を体現し、生徒の自主性や自律を促す教育活動の推進」です。

短期的な課題として、

- ①「探究・協働・発信」のプロセスに基づいた能動的な学習の推進と、マネジメントタイム（朝と放課後における生徒の自主活動）の充実。
- ②情報モラルに配慮しながら、さらなるICT活用の推進。
- ③国公立大の合格者数35名（京阪神レベル10名を含む）ならびに関関同立の合格者数150名の到達。
- ④高校入学者数の安定化と中学校2クラス募集の実現。

の4つが挙げられます。これらの課題を達成するため、引き続き日々の教育活動に取り組んでまいります。



大阪体育大学浪商幼稚園

園長 福力 稔

心も身体も たくましく

さまざまなカリキュラムを通して、心身の基礎をつくります。

大阪体育大学浪商幼稚園は、「知・徳・体」の教育理念の基、これまで培われてきた70年あまりの伝統を背景に、幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を基礎としたバランスのとれた保育の『標準クラス』、今後のグローバル社会を見据えて英語カリキュラムと就学前教育との両立をめざす『イマージョンクラス』の2コースを展開しています。

これからの10年を見据えて、本園では「心も身体もたくましく」というテーマを新たに掲げました。これには、年間を通じて行われている「スイミング」や「体育あそび」、また毎週行われている「園外保育」を通して「身体」を、一方で「運動会」や「劇あそび」など園児の発表の機会、また「お茶会」に代表されるような日本の伝統的な行事を通して「心」をたくましくしていこうという2つの思いが込められています。

最近では、iPad（ハード面）やGoogle classroom・業務支援システム（ソフト面）といったICTを積極的に園の運営に取り入れるとともに、保育にも活かしていこうと試みています。

これからの10年は、今後の少子化や社会構造の急激な変化を見据え、抜本的な組織体制の再構築が必要になると認識しています。





学園創立100周年記念募金委員会

令和元(2019)年4月から開始いたしました浪商学園創立100周年記念募金は、令和4(2022)年3月31日をもって終了いたしました。この間、卒業生の皆様、在籍者の保護者の皆様、お世話になっております関連企業・団体の皆様、本学教職員や関係者等、多くの皆様からご支援を賜りました。趣意にご賛同いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。

賜りましたご厚志は、「学園創立100周年記念奨学金(野田三郎奨学金)*」として、学生・生徒の教育支援に広く活用させていただきます。

対象区分	件数	金額(円)
卒業生	315	3,493,655
在籍者	99	1,188,000
法人	42	22,680,000
団体	7	12,565,000
個人	55	1,089,000
学園役員・教職員(退職者を含む)	181	27,101,240
計	699	68,116,895

令和4(2022)年5月末日現在



第2,4代理事長 野田三郎

* 学園創立100周年記念奨学金(野田三郎奨学金)

学園の発展に大きく尽力された第2、4代理事長 野田三郎の功績を称え、名前を冠した給付型奨学金を令和元(2019)年に設置。建学の精神を尊び、人材の育成に資することを目的とする奨学金です。学業成績優秀者やスポーツ成績優秀者、海外語学留学生や海外スポーツ留学生、就学困難者など、将来性豊かな学生・生徒に対して資金援助を行います。

【野田三郎奨学金活用状況】

各設置校でそれぞれの選考基準にのっとり推薦者を選考します。その推薦者を理事長に報告し、審査を受け奨学生として承認されます。100周年記念募金は終了いたしました。今後も野田三郎奨学金を継続していくための活動を進めてまいります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

設置校の選考基準、対象者数、年間支給額

設置校名	内容
大阪体育大学	学業成績優秀者への学資金 ●年間：29名 ●合計：580万円
大阪体育大学大学院	海外の大学、その他研究機関留学生への学資金 ●年間：1～2名 ●合計：20万円
大阪体育大学 浪商中学校・高等学校	学業成績・スポーツ優秀者への学資金 ●年間：10～15名 ●合計：210万円
大阪青凌高等学校	学業成績優秀者への学資金 ●年間：10～15名 ●合計：210万円

100周年記念サイト：<https://www.namishogakuen.jp/100th/>



学園創立100周年記念式典委員会

新型コロナウイルス感染拡大により延期となりました学園創立100周年記念式典・祝賀会を11月に開催いたします。安全を第一に考え、準備を進めてまいります。

日時：令和4(2022)年11月6日(日)
場所：ホテルニューオータニ大阪

組織風土改革プロジェクト 令和4(2022)年度の取り組み



令和4(2022)年度の組織風土改革プロジェクトは前年度に策定した「SFGs」の普及活動とSD活動、行動指針の浸透を中心に進めてまいります。本来、プロジェクトは100周年の2021年度までの活動予定でしたが、本年度以降も職員のスキルアップのために活動を継続することとなりました。

本年度も学園の組織風土を改革し、教職員の皆様が働きやすい職場環境を構築できるよう取り組んでまいりますので、プロジェクトの活動にご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

〈令和4年度メンバーより〉

昨年度に続き、組織風土改革プロジェクトに委嘱いただき、3年目を迎え、これまで進めてきたことを具現化する年だと考えています。物事は全て楽しいから本気になるのではなく、本気になるからこそ楽しくなり、本気になるからこそ実現すると考えます。

メンバーは通常業務でのご多忙の中、時間を割いて学園を良くしていこうと本気で考えています。本気でやろうとすることが、学園関係者の皆様に伝わり、組織風土が向上したと言っていたように頑張りたいと思います。(入試部 姫路文博)



「雲がかかった？」組織診断ではいつも言われますが、私は理解できません。「なにが、どうで、どうなのか・・・」。そんなダメですか？楽しくないですか？勝手なことばかり言って叱られますが、私は少しでも多くの方が、一揆一揆、心を通わせていただければよいと思います。

組織風土改革プロジェクトは今年度もさまざまな取り組みを行っていきませんが一番大切なことは「心」だと思います。全員が組織風土改革プロジェクトメンバーです。

(キャリア支援部 キャリア支援センター 高津 真人)

前年に引き続き、組織風土改革プロジェクトメンバーに委嘱いただきました。新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、大人数でのイベントは控えておりますので、プロジェクトの活動が小規模・スピード感に欠けると感じている方もいるかと思われられます。その点はメンバーも課題と認識しておりますので、今期はスピード感にもこだわり、昨年度策定したSFGsを軸にさまざまな提案・発信をしていければと考えておりますので、引き続きご理解ご協力をお願いします。

(総務部 人事給与担当 中辻由幸)

組織風土は、教職員によって明示的・默示的に認識された考え方や行動、感情に影響を与える価値観等であり、変革していくにはハード(規則など目に見えるもの)とソフト(行動様式に影響する価値観)の変革が必要となります。プロジェクトメンバーとして、(自分自身を含めて)職員一人ひとりの行動変容を促せるようにさまざまな活動を展開するとともに、手法に囚われず、目的(組織風土改革は何のためにするのか?)を大事にしてプロジェクト活動を実施していきます。

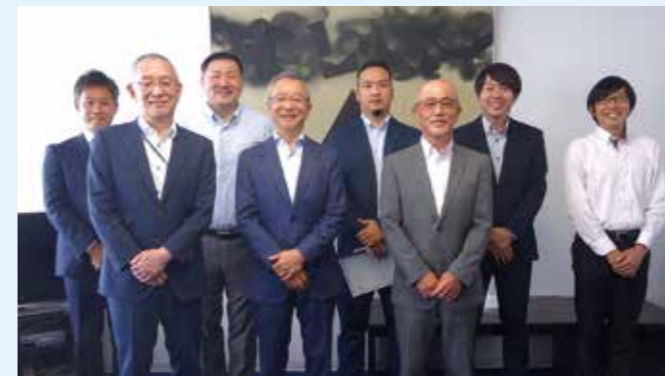
皆様と一緒に組織風土をより良くしていきたいと思っておりますので、プロジェクトへのご理解ご協力をお願いします!

(庶務部 学長室担当 佐藤浩輔)

本年度も昨年度に引き続き活動に応募し、参加させていただきました。私はこの活動を通して、学園の良い部分、悪い部分を知ることができました。悪い部分を改善、良い部分を伸ばすためにさまざまな取り組みを提案し、実行に移しております。取り組みに対して全ての方々の理解を得ることは難しいと考えておりますが、それでもプロジェクトとして本年度もより良く、より働きやすい組織を作るためにさまざまなアイデアを出していきたいと考えております。

皆様のご協力がなければこの活動は成り立ちませんので、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(総務部 企画室 野田達彦)



1. 令和3年度 事業報告書

大阪体育大学 (大学院・体育学部・教育学部) URL <https://www.ouhs.jp>

- 入試では、初めて大学入学共通テストを利用しました。総志願者数は、大学は2,370名、大学院は博士前期課程が38名、博士後期課程は4名でした。
- 令和3(2021)年度入学生からPCを必携化とし、多くの授業でデータ解析や映像を用いた授業が展開されるようになりました。
- 大学院では、令和4(2022)年度から昼夜開講制を導入し、オンライン授業の受講で単位の修得が可能に。全国から広く社会人を受け入れる体制を整えました。
- スポーツ科学センターでは、組織の見直しや専門スタッフの充実化を進めました。ニーズに沿って競技力向上を支援する環境や体制の強化をいっそう充実させるため、スポーツ局など関係部署等との連携強化や協働に取り組んでいます。
- 海外の大学・教育研究機関との学術・文化の交流促進、本学の教育・研究活動の向上と発展に資することを目的とした国際交流センターを設置しました。

大阪体育大学浪商中学校・高等学校 URL <http://www.ouhs-school.jp>

- クラブ活動では、ほぼすべての大会が感染症対策を徹底しながら予定通り実施されました。まだまだ制限がある中、全国大会や近畿大会に出場・上位入賞等すばらしい活躍をしてくださいました。
- 「令和3(2021)年度 活動表彰式」が行われ、理事長より優秀な成績を収めた生徒(部活動)に学園賞等が授与されました。その中には部活動だけでなく、「GTEC 奨励賞」の表彰もありました。
- 中高大連携の強化を図るため、中高大連携会議、小会において情報共有を密に行いました。また、未来を生き抜く力を育てるため、国際的視野の育成や地域社会との連携も図りました。
- 中学校では、2クラス2コース制から1クラス募集とし、2年次からグローバルプログラムまたはスポーツプログラムを選択できるカリキュラムを設定しました。
- 高校1年生に対し、1人1台iPadを導入。ICT環境等の教育環境の充実を図りました。

大阪青凌中学校・高等学校 URL <https://www.osakaseiryu.jp>

- 高等学校の進学実績は、国公立大32名、関関同立109名、産近佛龍495名でした。国公立大学合格は数の上では微増ですが、京阪神レベルの合格が約10名となりました。一方、有名私立大学の合格者数は飛躍的に向上。ついに現役生だけで関関同立の合格者が109名となりました。また、産近佛龍の現役生の合格者が482名と、その現役合格率は97.3%でした。
- 授業外の時間を自らマネジメントし、自ら学ぼうとする態度をもった生徒の育成を目的に、全コース34単位制がスタートしました。
- iPadの活用方法について、情報モラルをもってICT機器を有効活用するとともに、あくまでもコミュニケーションツールの一つであることを再確認するよう指導しています。今後も情報モラル人権教育に一丸となって取り組みます。
- 教育研究体制を整備し、常勤講師、専任教諭について、年間25週で週休2日制が実施できました。

大阪体育大学浪商幼稚園 URL <https://www.ouhs.jp/kinder>

- iPadを1人1台教員に配付。担当を決め、研修をはじめ使用方法、運用方法について取り決めました。また新たにモニターも導入し、クラス全体で取り組むダンスの練習や、保育の中で活用されています。
- 「れんらくアプリ」を導入。これにより朝の電話での欠席連絡やお迎え等の連絡も、アプリへの入力が入力定着してきました。今後も、運用を広げていきます。
- 預かり保育の申込が増加したため、月極の申し込みを学期単位とし、これまで行っていなかったキャンセル待ちも始めました。

学校法人 浪商学園 法人本部 URL <https://www.namishogakuen.jp>

- 学園創立90周年に掲げた100周年までの長期ビジョンを前提とし、学園のさらなる充実・発展のため、今後10年間の全教職員の目標となる「100周年ビジョン」を策定。併せて、その内容を踏襲し各設置校の伝統と方針を加味した「設置校ビジョン」も策定しました。
- 「100周年ビジョン」を受け、学園として方針を統一し、全設置校が5年間の経営の中期目標と計画を策定しました。
- 大阪体育大学体育館への空調設置について、既存体育館の状況を勘案して最善の方法で設置しました。また、陸上競技場の公認検定更新工事や剣道場等の改修、学生サービス向上の一環として、利用者の多いトイレの改修工事も実施しました。

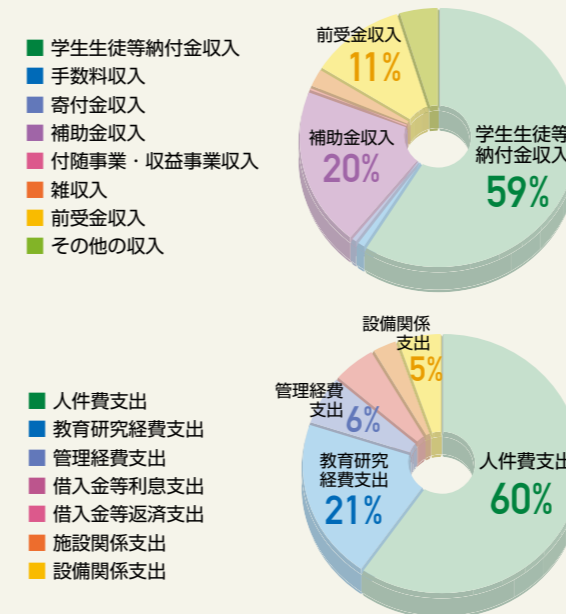
2. 令和3年度 決算の概要

令和3年度 資金収支計算書

収入の部 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,537,190	4,536,390	800
手数料収入	82,870	86,953	▲4,083
寄付金収入	70,680	76,946	▲6,266
補助金収入	1,491,530	1,521,080	▲29,550
(国庫補助金収入)	473,380	509,526	▲36,146
(府県補助金収入)	1,018,150	1,011,553	6,597
資産売却収入	1,590	1,781	▲191
付随事業・収益事業収入	45,010	43,159	1,851
受取利息・配当金収入	860	876	▲16
雑収入	192,730	198,857	▲6,127
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	820,770	861,350	▲40,580
その他の収入	359,150	360,420	▲1,270
資金収入調整勘定	▲1,003,080	▲1,128,210	125,130
前年度繰越支払資金	2,325,060	2,325,066	
収入の部合計	8,924,360	8,884,665	39,695

支出の部 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,732,020	3,721,223	10,797
教育研究経費支出	1,401,860	1,268,581	133,279
管理経費支出	403,530	385,228	18,302
借入金等利息支出	14,220	14,219	1
借入金等返済支出	329,890	329,890	0
施設関係支出	179,571	179,107	464
設備関係支出	361,500	320,645	40,855
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	580,010	620,841	▲40,831
予備費	162,849		162,849
資金支出調整勘定	▲531,640	▲574,136	42,496
翌年度繰越支払資金	2,290,550	2,619,066	▲328,516
支出の部合計	8,924,360	8,884,665	39,695

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります
※()の科目は内数です



令和3年度 事業活動収支計算書

収入の部 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	4,537,190	4,536,390	800
手数料	82,870	86,953	▲4,083
寄付金	71,740	79,330	▲7,590
経常費等補助金	1,421,210	1,450,751	▲29,541
付随事業収入	45,010	43,159	1,851
雑収入	192,730	201,259	▲8,529
収入計	6,350,750	6,397,841	▲47,091
人件費	3,719,542	3,715,364	4,178
教育研究経費	2,190,490	2,057,275	133,215
(減価償却額)	787,230	786,326	904
管理経費	475,220	456,955	18,265
(減価償却額)	71,690	71,710	▲20
徴収不能額等	2,935	2,815	120
支出計	6,388,187	6,232,410	155,777
収支差額	▲37,437	165,431	▲202,868

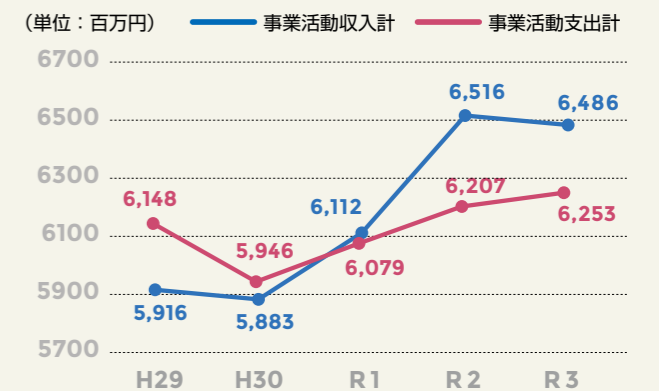
教育活動外収支 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	860	876	▲16
その他の教育活動外収入計	860	876	▲16
借入金等利息	14,220	14,219	1
教育活動外支出計	15,090	14,219	871
収支差額	▲13,360	▲13,344	▲16
経常収支差額	▲50,797	152,088	▲202,885

特別収支 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	73,760	86,812	▲13,052
その他の特別収入計	73,760	86,994	▲13,234
資産処分差額	6,499	6,325	174
その他の特別支出	0	0	0
教育活動外支出計	6,499	6,325	174
収支差額	67,261	80,669	▲13,408
予備費	182,573	0	182,573
基本金組入前当年度収支差額	▲166,110	232,756	▲398,866
基本金組入額合計	▲893,130	▲664,816	▲228,314
当年度収支差額	▲1,059,240	▲432,060	▲627,180
前年度繰越収支差額	▲14,767,800	▲14,767,799	▲1
翌年度繰越収支差額	▲15,827,040	▲15,199,858	▲627,182

参考 (単位:千円)

項目	予算	決算	差異
事業活動収入計	6,425,370	6,485,710	▲60,340
事業活動支出計	6,408,907	6,252,954	155,953

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります
※()の科目は内数です



資金収支の推移

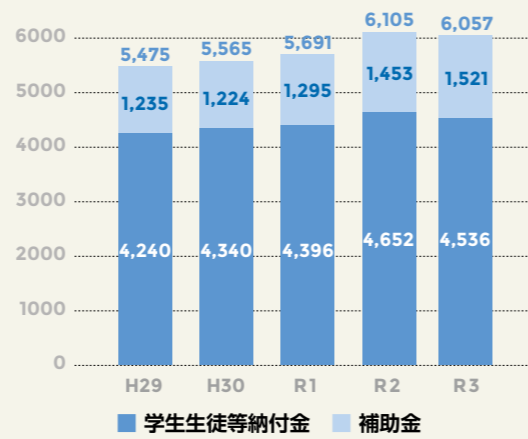
(単位:千円)

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金	4,240,008	4,340,480	4,396,329	4,652,183	4,536,390
手数料	109,991	105,067	99,848	83,343	86,953
寄付金	33,240	30,752	39,845	87,635	76,946
補助金	1,234,650	1,224,497	1,294,973	1,453,462	1,521,080
資産売却	52,485	2,536	506,450	66	1,781
付随事業・収益事業	41,837	71,736	50,396	29,868	43,159
受取利息・配当金	12,081	12,076	16,548	2,727	876
雑収入	229,019	87,666	198,652	185,765	198,857
借入金等	2,000,000	2,045,000	555,000	0	0
前受金	905,013	909,566	936,974	855,947	861,350
その他の収入	203,713	179,886	216,770	285,710	360,420
資金収入調整勘定	▲1,181,209	▲1,013,064	▲990,231	▲1,201,442	▲1,128,210
前年度繰越支払資金	1,920,031	1,629,834	2,454,281	1,987,344	2,325,066
収入の部合計	9,800,859	9,626,031	9,775,836	8,422,606	8,884,665
科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費	3,582,464	3,376,898	3,481,403	3,684,582	3,721,223
教育研究経費	1,262,812	1,266,513	1,264,892	1,331,529	1,268,581
管理経費	443,114	458,639	446,261	371,536	385,228
借入金等利息	2,932	5,058	15,864	15,086	14,219
借入金等返済	125,000	150,000	650,000	199,000	329,890
施設関係	2,542,612	1,445,539	1,512,669	368,095	179,107
設備関係	274,234	288,607	306,848	299,822	320,645
資産運用	0	0	0	0	0
その他の支出	479,016	565,121	418,619	348,818	620,841
資金支出調整勘定	▲541,159	▲384,626	▲308,063	▲520,929	▲574,136
翌年度繰越支払資金	1,629,834	2,454,281	1,987,344	2,325,066	2,619,066
支出の部合計	9,800,859	9,626,031	9,775,836	8,422,606	8,884,665

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

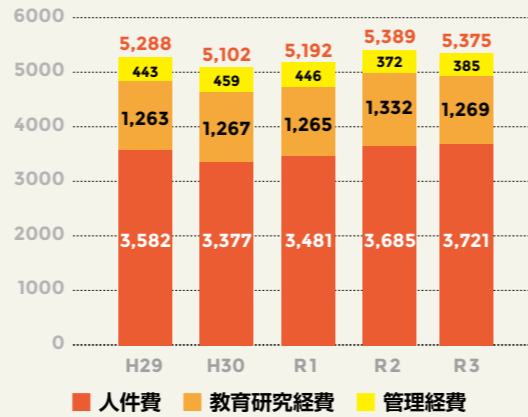
学生生徒納付金 + 補助金の推移

(単位:百万円)



人件費・教研費・管理経費の推移

(単位:百万円)



学生・生徒・園児数・入学者数・入園者数の推移

学生・生徒・園児数の推移

学校名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
大阪体育大学	大学院	24	30	19	31	24
	体育学部	571	548	554	583	541
	健康福祉学部	167	150	136	145	142
	教育学部	167	150	136	145	142
	浪商高等学校	233	254	213	256	251
	浪商中学校	37	36	21	38	36
大阪青凌高等学校	263	297	378	362	306	
大阪青凌中学校	15	20	15	35	30	
浪商幼稚園	91	117	121	125	131	
合計	1,401	1,452	1,457	1,575	1,461	

※各年度5月1日現在の人数

※各年度5月1日現在の人数

令和3年度 卒業生 進路状況等 (9月卒業生含む)

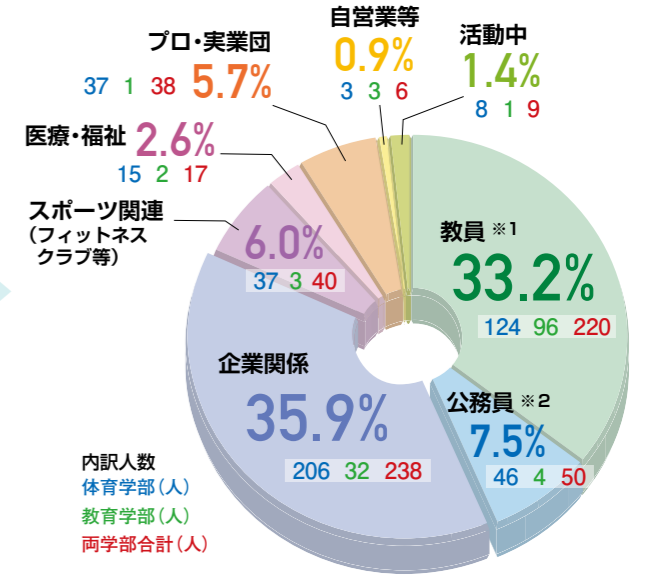
大阪体育大学

項目	体育学部	教育学部	両学部
卒業生	515	148	663
就職希望者(進学・その他を除く)	476	142	618
就職者(アルバイト・活動中・進学・その他を除く)	468	141	609
就職率	98.3%	99.3%	98.5%

令和4年5月27日現在

※1 令和3年度の教員(現役専任)合格者数は延べ64名です。

※2 令和3年度の公務員(教員除く)合格者数は延べ74名です。



令和3年度 大学入試 合格実績 (浪人生含む)

大阪体育大学浪商高等学校

学部名	人数
体育学部	26
教育学部	9

学校名	人数
筑波大学	1
和歌山大学	2

学校名	人数
創価大学	1
東海大学	1

大阪青凌高等学校

学校名	人数
大阪大学	1
神戸大学	2
九州大学	1
三重大(医・医)	1
広島大学	1
大阪公立大学	2
京都府立大学	1
神戸市外国語大学	1
滋賀大学	1
三重大	1
岡山大学	1
京都市立芸術大学	1

令和4(2022)年度 学園設置校入試結果

設置校	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
大阪体育大学	520	1,820	950	555
大阪体育大学	125	550	300	128
計	645	2,370	1,250	683
大学院	30	42	37	35
大阪体育大学浪商高等学校	260	861	836	234
大阪青凌高等学校	280	926	914	292
大阪体育大学浪商中学校	35	46	45	34
大阪青凌中学校	30	35	24	14
大阪体育大学浪商幼稚園 3歳児	120	98	98	91
合計	1,400	4,378	3,204	1,383

※幼稚園は3歳児のみ記載 ※令和4年5月1日現在